



2023 第77回読書週間

10月27日(金)～11月9日(木) 14日間

今年度も読書週間が始まります。

食欲の秋・スポーツの秋・芸術の秋・そして、**読書の秋!**

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割をはたすことは変わりありません。



暮らしのスタイルに人生設計のなかに、新しい感覚での「本との付き合い方」をとりいれていきませんか。『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。よりいっそうの盛りあがり、期待いたします。

標語「私のペースでしおりは進む」



図書館委員会企画

ハロウィンレジャーハント!

期間：10月16日(月)～31日(火) 時間：昼休み・放課後

方法：本の背表紙にハロウィンのシールが貼ってあります。

中にかぼちゃのカードが入っています。

カードを見つけたら図書委員に提出してください。

プレゼントと交換します。カードがなくなり次第、終了します。

※いろいろなプレゼントを用意しています。

お楽しみに! 早めに来館してね!!



図書館委員会をよろしくお願いします!

委員長あいさつ

私は、後期から図書委員長として、委員会をまとめ、リードしていく立場になりました。不安が一杯ですが、委員の皆に助けをもらいながら、頑張っていきます。今までの委員会を元に、色々な意見を出し合い、新しい委員会づくりや、来館しやすい図書館づくりをしていきたいと思っています。また、委員会企画も色々と提案していきますので、生徒の皆さんの参加をお待ちしています。

2年 佐藤悠梨奈



副委員長あいさつ

副委員長として、委員長のサポートをしっかり行い、委員会の仕事を忘れず、自分から進んで動くように、頑張っていきます。前期、図書当番をしていて、思ったことがあります。図書館を利用する人が限られているので、普段来館しない人から利用してもらうために、オススメの本などの発表をし、本を好きになってくれるような企画を考えていきたいと思っています。

1年 渡邊翼

文化祭図書館委員会企画

テーマ：『読書の秋』

☆しおり・プラ板ストラップ作り

期間：10月16日(月)～20日(金) 放課後

※自分だけのしおりや好きなキャラクターのストラップを作ってみませんか!

皆さんの来館をお待ちしています!!

2023年発表 読書週間にオススメの新刊!



『好きになってしまいました。』 三浦しをん著

どこから読んでもミウラシランが溢れだす、読み始めたら止まらない抱腹絶倒のエッセイ集! 愛と笑いと妄想に満ちた、人気作家の日常、ときどき非日常。

『恋とそれとあと全部』 住野よる著

友達だけど、違う生き物、片思い男子とちょっと気にしすぎ女子。二人は友達だけど、違う生き物。一緒に過ごす、夏の特別な四日間。

『黄色い家』 川上未映子著

十七歳の夏、「黄色い家」に集った少女たちの危険な共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解する。人はなぜ罪を犯すのか。

『不死身のつもりの流れ星』 最果タビ著

「われわれはこの距離を守るべく生まれた、夜のために在る6等星なのです。」体験する詩の展覧会という新しい表現で日本中を席卷した詩たちが1冊に集結!

『霸王の轍』 相場英雄著

警察キャリアの樫山順子は、北海道警捜査二課長に突如、着任する。ススキノで起きた国交省技官の転落事故と道内の病院を舞台とした贈収賄事件を並行して捜査するなか、両事件の背景に、この国の鉄道行政の闇が広がっていることも知る。

『がらんどろ』 大谷朝子著

どんな型にもうまくはまれない、でも、特別じゃない。今を生きるすべての人へ、さまざまな属性を越えて響く“わたしたち”の物語。

『あなたはここにいないとも』 町田そのこ著

今は人生の迷子になってしまったけれど、あなたの道標、ここに。もつれた心を解きほぐす、ぬくもりに満ちた全五篇。



『あわのまにまに』 吉川トリコ著

どれだけの秘密が、この家族には眠っているんだろう? 2029年から1979年まで10年刻みでさかのぼりながら明かされる、ある家族たちをとりまく真実。

『やさしさを忘れないうちに』 川口俊和著

いつかなんて待たずに、すぐ会いに行けばよかった。結婚を許してやれなかった父、バレンタインチョコを渡せなかった女、離婚した両親に笑顔を見せたい少年、名前のない子供を抱いた妻、止まってしまった「今」を未来へと動かすために過去に戻る、4人の男女の物語。



『時かけラジオ』 成田名璃子著

未来の人、お電話ください。時を超え、人をつなぐ奇跡のラジオ。真夜中のラジオが昭和と令和をつなぐ時、悩める4人のリスナーと、そしてきっとあなたに、優しい波音が聞こえてくる。

『書きたい生活』 僕のマリ著

理不尽なクレームと闘い、自らが信じる正しさを貫く物語は、過去に負った傷を癒やす再生の物語そのものだ。

『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾著

不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。少年の冒険×警察ミステリ×空想科学

『成瀬は天下をいく』 宮島未奈著

中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない!

『新・教場』 長岡弘樹著

最恐教官・風間公親の初陣! 新章始動!

『月と散文』 又吉直樹著

センチメンタルが生み出す爆発力、ナイーブがもたらす激情。いろんなものが失くなってしまった日常だけれど、窓の外の夜空には月は出ている、書き掛けの散文だけは確かにあった。

※ぜひ、図書館へ!

